

# 歴史総合, 世界史探究

(60分)

## 注意事項

1. 試験問題は、問1～問35まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問35までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

## 問題 I

12 世紀のユーラシアとインド洋世界に関する次の文章を読み、下の問(問 1～問 12)に答えよ。

12 世紀は、貨幣経済の拡大によって交易や都市の商業活動が活発化し、広域にわたる文化・技術・知識の交流が進展した、世界史上の大きな転換期であった。

西ヨーロッパでは、封建社会の基盤が整い、農業生産力の拡大とともに都市の発展が進んだ。北海やバルト海沿岸でも都市間の交易が盛んになり、後にハンザ同盟へと発展するネットワークの萌芽が見られた。また、十字軍遠征は東地中海の港や交易路の活用を促し、ヴェネツィアやジェノヴァ、ピサなどのイタリア都市国家が輸送や物資供給を担い、レヴァント貿易(東方貿易)で勢力を拡大した。イスラーム世界やビザンツ帝国を経由して古代ギリシア・ローマ文化が流入することで「12 世紀ルネサンス」と呼ばれる古代文化の復興運動が興り、その影響のもとに 13 世紀末までに 46 の大学が設立され、ヨーロッパ文化が大きく発展する契機となった。

西アジアでは、セルジューク朝が広大な地域を支配していたが、内部の分裂が進行していた。十字軍との戦いが激化しているなか、サラディン(サラフ＝アッディーン)が台頭し、エジプトに  を興し、シリアとエジプトを統一した。交易も活発になり、東方の産物が西アジアを経由してヨーロッパに広まることにより、西アジアの都市は経済的に繁栄した。

北インドではラージプートと称される諸勢力が存在感を保っていたが、ガズナ朝やゴール朝による侵攻が繰り返され、イスラーム勢力の拡大とともにイスラーム文化や政治の基盤が次第に形成されつつあった。南インドはモンスーンを利用した海上交易の拠点として栄え、ムスリム商人や中国商人が訪れ、嗜好品や高級品が各地へ運ばれた。

東南アジアでは、アンコール朝が最盛期を迎え、12 世紀前半にはアンコール＝ワットのような壮大な寺院建築が建立された。また、東南アジア各地の港市国家は南シナ海の要地として発展し、中国・インド・中東との交易の中継地となった。

アフリカ東岸では、インド洋交易の拡大とともに、キルワやザンジバルなどの港市が栄えた。これらの都市では金・象牙・奴隷などが、アラビア半島やインドおよび中国からの陶磁器・布・ビーズと交易され、海を越えて幅広い交易ネットワークが築かれた。ムスリム商人の活躍によって、アラビア語の影響を受けた  が普及していった。

問 1 下線部(1)に関連して、農業生産が拡大した主な要因として、最も適切なものを次の

①～④のうちから一つ選べ。

- |           |            |
|-----------|------------|
| ① 三圃制の普及  | ② 均田制の発展   |
| ③ 大規模な機械化 | ④ 大規模な農奴解放 |

問 2 下線部(2)に関連して、北海・バルト海を中心に新たに成立した北ヨーロッパ商業圏において、毛織物生産で繁栄した地方として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① シャンパーニュ地方
- ② フランドル地方
- ③ ロンバルディア地方
- ④ バイエルン地方

問 3 下線部(3)に関連して、1095年のクレルモン宗教会議で聖地回復の聖戦を起こすことを提唱した教皇として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① インノケンティウス3世
- ② ウルバヌス2世
- ③ レオ10世
- ④ グレゴリウス7世

問 4 下線部(4)に関連して、この時代のレヴァント貿易で、ヨーロッパ諸都市が主に輸入したものとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鉄鉱石や石炭
- ② 綿花や茶
- ③ 海産物や毛織物
- ④ 香辛料や絹織物

問 5 下線部(5)に関連して、以下の大学の中で最も早く設立された大学として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① パリ大学
- ② ケンブリッジ大学
- ③ オクスフォード大学
- ④ ボローニャ大学

問 6 下線部(6)に関連して、セルジューク朝の主要都市として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① マラケシュ
- ② コルドバ
- ③ コンスタンティノーブル
- ④ バグダード

問 7 空欄 

7
---

 にあてはまるものとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ファーティマ朝
- ② アイユーブ朝
- ③ ムワッヒド朝
- ④ マムルーク朝

問 8 下線部(8)に関連して、ラージプートが信仰した主な宗教として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 仏教
- ② ジャイナ教
- ③ ヒンドゥー教
- ④ ゴロアスター教

問 9 下線部(9)に関連して、この後 13 世紀初頭にインドで初めてのイスラーム王朝が誕生するが、この王朝についての説明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 将軍アクバルが創始した。
- ② イラン系の王朝である。
- ③ マンサブダール制を定めた。
- ④ 首都はデリーに置かれた。

問10 下線部(10)に関連して、ムスリム商人がインド洋交易で使用したダウ船の特徴として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 三角帆を用い、風向きに応じて航行できる。
- ② 鉄製の蒸気エンジンを搭載していた。
- ③ 河川専用で、海上では使用できなかった。
- ④ 頑丈な作りで、ジャンク帆を用いて安定性に優れている。

問11 下線部(11)に関連して、アンコール朝を興した人々として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① チャム人      ② クメール人      ③ ピュー人      ④ モン人

問12 空欄  にあてはまるものとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウルドゥー語      ② ヒンディー語
- ③ スワヒリ語      ④ ペルシア語

次ページ以降にも問題があります。

## 問題Ⅱ

中国・清朝の時代に関する次の文章を読み、下の問(問 13～問 24)に答えよ。

17 世紀半ば、鄭氏は台湾を拠点として清に抵抗した。清はこれに対抗するため海禁政策をとっていた<sup>(13)</sup>。1683 年に鄭氏を降伏させ台湾を領土に組みこむと、清は海禁を解除し開放策に転じた。外交関係を伴わない民間貿易である [ 14 ] 貿易が朝貢貿易に代わって主流になった。

清の海上貿易が盛んになると、生糸や陶磁器・茶が特産品として輸出され、対価として清には大量の銀が流入した<sup>(15)</sup>。その結果、清では銀を中心とした経済が発展し、各地で商業が活性化した。

18 世紀に入ると広域な海上交易ネットワークが形成され、ヨーロッパ諸国の参入も活発になった。清朝皇帝 [ 16-ア ] は治安上の理由からヨーロッパからの来航を [ 16-イ ] に限定したが、ヨーロッパでの東アジア製品の流行もあり貿易額は増加していった。

18 世紀後半には、産業革命を経験したイギリスが、清とヨーロッパとの貿易の主導的地位を占めるようになった<sup>(17)</sup>。イギリスは茶の輸入増大によって銀の流出に苦しんだ。その解決策として、イギリスは [ 18 ] 産のアヘンを清に密売し、見返りに茶を輸入する三角貿易を展開した。清はアヘンの流入と銀の流出に危機感を抱いて規制を強めたが、イギリスは自由貿易を口実に武力を行使し、アヘン戦争を引き起こして南京条約を結ばせた。

19 世紀半ば、清では経済が不況に陥り、社会不安が広がった<sup>(19)</sup>。その結果、各地で農民や秘密結社による反乱が頻発し、さらに少数民族や宗教集団も加わって動乱が拡大した。このような状況のなかで、最大の反乱勢力として登場したのが、[ 20 ] を指導者とする太平天国であった。こうした反乱に対して清朝の常備軍は十分に対処できず、その結果、曾国藩などの漢人官僚が組織した郷勇が反乱鎮圧の主力となった<sup>(21)</sup>。

反乱の鎮圧後、清では [ 22 ] が実権を握り、有力な漢人地方官僚が郷勇の基盤のもとで勢力を拡大した。彼らは反乱鎮圧の過程で西洋の軍事的優位を認め、兵器工場や紡績工場の建設、電信網の整備などを進めた<sup>(23)</sup>。

19 世紀後半、朝鮮では清に従おうとする勢力と近代化を目指す勢力が対立し甲申政変が生じた。また、甲午農民戦争をきっかけに日本と清が対立を深め、1894 年に日清戦争が勃発した。日清戦争は日本の勝利に終わり、1895 年に下関条約が結ばれた<sup>(24)</sup>。これにより清の冊封体制は崩壊し、東アジアの国際秩序は大きく転換した。

問13 下線部(13)に関連して、その事象の説明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 趙匡胤が鄭氏台湾を平定した。
- ② 康熙帝が雲南・広東・福建を廃止する決定をしたことで黄巢の乱が生じた。
- ③ 海禁政策により内陸部から沿岸部に住民を強制的に移住させた。
- ④ 鄭成功はオランダ人を駆逐し台湾を占領した。

問14 空欄  にあてはまるものとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 佃戸                      ② 互市                      ③ 交子                      ④ 郷紳

問15 下線部(15)に関連して、銀をめぐる事象として、適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 16世紀にスペインはポトシ銀山を開発した。
- ② 17世紀初頭の石見銀山は日本銀の最大の産出元であった。
- ③ 16世紀半ばにヨーロッパではアメリカ大陸からの銀の流入による物価上昇が生じた。
- ④ 17世紀に清は租税と労役の納入を銀で行わせる租調庸制を導入した。

問16 空欄  と  にあてはまる人名と地名の組み合わせとして、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="text" value="16-ア"/> | <input type="text" value="16-イ"/> |
| ① 雍正帝                             | 広州                                |
| ② 雍正帝                             | 杭州                                |
| ③ 乾隆帝                             | 広州                                |
| ④ 乾隆帝                             | 杭州                                |

問17 下線部(17)に関連して、産業革命期の発明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ジョン＝ケイは飛び杼を発明した。
- ② カートライトは飛び杼を発明した。
- ③ アークライトは蒸気機関を発明した。
- ④ ダービーは蒸気機関を発明した。

問18 空欄  にあてはまる地名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① エジプト      ② インド      ③ 日本      ④ メキシコ

問19 下線部(19)に関連して、南京条約の内容として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 上海・寧波・福州・厦門・広州の開港  
② マカオの割譲  
③ 行商を通じた貿易の廃止  
④ 賠償金の支払い

問20 空欄  にあてはまる人名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 李自成      ② 曹操      ③ 朱元璋      ④ 洪秀全

問21 下線部(21)に関連して、太平天国の乱の説明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 太平天国の首都である北京が陥落して乱は鎮圧された。  
② 太平天国に対抗するため孫文が中国同盟会を結成した。  
③ 反乱を鎮圧するべく、アメリカは第2次アヘン戦争を引き起こした。  
④ イギリス・フランスは清朝を支持し、鎮圧に協力する常勝軍が編成された。

問22 空欄  にあてはまる人名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 張作霖      ② 李鴻章      ③ 蔣介石      ④ 林則徐

問23 下線部(23)に関連して、こうした富国強兵の動きの名称として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 文化大革命      ② 国共合作  
③ 改革開放政策      ④ 洋務運動

問24 下線部(24)に関連して、この条約で日本に割譲された地域として、適切でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 遼東半島      ② 台湾      ③ 青島      ④ 澎湖諸島

次ページ以降にも問題があります。

### 問題Ⅲ

次の経済学者(A)～(F)について、下の問(問25～問35)に答えよ。

(A) ケネー [出身] フランス [時代] 1694-1774年 [主著] (ア)	(B) (イ) [出身] イギリス [時代] 1723-1790年 [主著] 『諸国民の富』	(C) マルサス [出身] イギリス [時代] 1766-1834年 [主著] (ウ)
(D) リカード [出身] (エ) [時代] 1772-1823年 [主著] 『経済学および 課税の原理』	(E) マルクス [出身] ドイツ [時代] 1818-1883年 [主著] 『共産党宣言』	(F) ケインズ [出身] イギリス [時代] 1883-1946年 [主著] 『雇用・利子お よび貨幣の一般理論』

問25 経済学者(A)に関連して、その主著(ア)にあてはまる書名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国富論
- ② 戦争と平和の法
- ③ 経済表
- ④ 第三身分とは何か

問26 経済学者(A)に関連して、彼がとなえた経済政策の説明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国王は国家第一の下僕であるとして、農民の保護や商工業の育成および教育の奨励などを行なう啓蒙専制主義の政策
- ② 国王が官僚制と常備軍をととのえ、新しい税制や法律を定める絶対主義の政策
- ③ 国家の富の源泉を農業生産に求め、穀物取引の自由化を目指す重農主義の政策
- ④ 国家が商工業の保護・育成を行ない、貿易の振興を目指す重商主義の政策

問27 経済学者(B)に関連して、その経済学者(イ)にあてはまる人名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アダム＝スミス
- ② テュルゴ
- ③ コブデン
- ④ ラ＝ファイエット

問28 経済学者(B)に関連して、その主著『諸国民の富』でとなえられている内容として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 経済は市場の自動調節機能に任せるほうがよいとする自由放任の政策をとなえた。
- ② 国民経済を守るためには国家による保護貿易が必要であるとして関税同盟の結成をとなえた。
- ③ 自由競争の制限や私的所有の廃止によって貧困や社会問題を解決しようとする社会主義をとなえた。
- ④ 経済は限りなく成長するとして増税や規制強化により福祉国家を目指す大きな政府をとなえた。

問29 経済学者(C)に関連して、その主著(ウ)にあてはまる書名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 方法序説
- ② 人間不平等起源論
- ③ 人口論
- ④ 農政全書

問30 経済学者(C)に関連して、彼が生きた時代の出来事として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日本では、王政復古の号令が発せられ、明治新政府が発足した。
- ② 北米では、アメリカ合衆国が独立し、ワシントンが初代大統領に就任した。
- ③ インドでは、ティムールの末裔であるバーブルがムガル帝国を建国した。
- ④ ロシアでは、十月革命が起こり、ソヴィエト社会主義共和国連邦が成立した。

問31 経済学者(D)に関連して、その出身地(エ)にあてはまる地名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリス
- ② ドイツ
- ③ フランス
- ④ アメリカ

問32 経済学者(D)に関連して、その学説として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 無政府主義
- ② 共産主義
- ③ 古典派経済学
- ④ 歴史学派経済学

問33 経済学者(E)に関連して、その主著『共産党宣言』の共著者の名として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オーウェン
- ② エンゲルス
- ③ サン＝シモン
- ④ ルイ＝ブラン

問34 経済学者(E)に関連して、その説明として最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 君主の存在は認めるが国民が憲法により統治する立憲君主政を主張した。
- ② その国に特有な産物に特化して生産・輸出するモノカルチャー経済を主張した。
- ③ 国民は政府に対する抵抗権を持つとなえた『統治二論』を著した。
- ④ 唯物史観に基づいて資本主義経済を科学的に分析した『資本論』を著した。

問35 経済学者(F)に関連して、その主著『雇用・利子および貨幣の一般理論』が出された頃の世界は大恐慌に悩まされていたが、その頃の欧米の経済政策の説明として、最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アメリカでは、ローズヴェルト大統領が積極的な財政支出によって景気回復をはかるうとした。
- ② ドイツでは、ヒトラーが率いるナチスによって共産主義国家が樹立された。
- ③ イギリスでは、マクドナルド内閣がブロック経済を否定するとともに、金本位制を確立した。
- ④ フランスでは、ブルムを首相とする人民戦線内閣がアウトバーンの建設やソフホーズによる農業の集団化によって、失業を克服しようとした。